

議会だより



休み時間に元気に遊ぶ子どもたち（矢切小学校）

6月定例会

平成20年6月定例会は、6月11日から26日まで開催されました。
今定例会初日には、議員提出議案として「国立大学習院大園芸学部の移転凍結を求める決議（4面に掲載）が上程され、全会一致で可決されました。また、12日に議会活性化委員長より議会改革に向けた検討結果が報告されました。さらに、市長から提出された議案や市民から提出された請願・陳情が各常任委員会で審査され、最終日には、これらの案件のほか議員提出議案が上程され採決されました（4面に審議結果を掲載）。
なお、市政に関する一般質問は、30人の議員が行いました。

6月定例会に提出された議案の概要です

議案第1号 専決処分の報告及び承認について（松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について）

健康保険法施行令等の一部が改正されたことに伴い、松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例を本年4月1日付けをもって専決処分により制定し、同日から施行した（一定以上の所得を有する70歳以上の被保険者の当該所得額の算定方法に係る規定を整備するもの）。

議案第2号 専決処分の報告及び承認について（松戸市市税条例の一部を改正する条例の制定について）

地方税法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、松戸市市税条例の一部を改正する条例を専決処分により制定し、施行した。

法人市民税の均等割に関する規定を整備した。
議案第3号 松戸市交通通車保障条例の一部を改正する条例の制定について

中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部改正を受け、保険料の助成に関する規定に、同法律による、支援を受けている者を加えるため。

議案第4号 松戸市ヘルパー派遣条例制収条例の一部を改正する条例の制定について

中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部改正及び移譲による、所得税額の変更に伴い、条例上の規定を整備を図るため。

議案第5号 松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

1 手数料を徴収しない世帯に同法律による、支援給付世帯を加える。
2 「派遣対象世帯区分」の欄中の所得税額を2分の1に改める。
議案第6号 松戸市消防防員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

非常勤消防防員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い、補償基礎額を配偶者以外の扶養親族に係る加算額について、現行の200円から217円に引き上げる。

議会活性化委員会 委員長報告（概要）

松戸市議会活性化委員会は、平成19年12月定例会において、議長の諮問機関として設置されました。

当委員会は、地方分権の流れのなかで、首長と等しく二元代表制の一翼を担い、住民の意思を代表する議会として、住民意識の多様化、行政運営の変化に対応するためには、議会の機能を時代に合わせ再検証し、充実発展させていく必要があるとの共通認識のもとで、20年3月までに10回開催し、議長へ検討結果を答申いたしました。

そこで今定例会において、その概要を報告いたします。まず、「議会改革の必要性」についてであります。当委員会では検討にあたって、この問題認識を委員間でしっかりと共有することに何よりも重点を置いてまいりました。

議会改革において、手法ばかりが先行すると、ややもすれば一過性の改革に終わってしまいかねないの考えに基づき、まず原点に戻って、地方自治の骨格である二元代表制における議会の役割、あるいは権能と、地方分権、市民参加など、自治体を取り巻く環境の大きな変化をどう捉えて、これからの地方議会のあり方を考えるのかという点を協議検討いたしました。目指すところは、時代に応じて議会の本来の権能をいかに高めていくのか、すなわち、これからの松戸市議会が、分権改革のなかで真にあるべき二元代表制の姿を捉え直し、議事機関として担うべき役割を明らかにして、議員全員がその認識を共有することにより、議会そして議員の本来の責務を果たし、かつ高めていくことというものであります。

分権改革の流れのなかで、関係法令の改正などが行われ、とりわけ18年の地方自治法の一部改正により、議会における専門的知見の活用などが謳われ、これまで以上に議会は、自主性、自立性を高めるとともに、自己決定・自己責任により自治体運営の一翼を担うことが求められています。協議検討の過程で議員全員がこの認識を共有して、議会改革を積極的に進めていく必要があるということが確認されました。

さらに、今回の取り組みは、手法の改革よりも実質的に議会の権能を再検証し議会の役割を高めていくこととするものであり、大上段に構えた改革ではなく、現実的に継続的に実施することが可能な改革を目指すということが、当委員会の共通認識とされました。

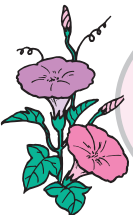
このような基本的な認識に基づき、議会改革の具体について協議検討を行った結果のうち「委員会活動のあり方」、「議決対象事件の拡大」につきまとは、今回の改革の重要な課題と捉えたところであります。

（以下、省略）

委員長報告の詳細は、松戸市議会ホームページまたは松戸市議会図書室で閲覧できます。

主な内容

- P2～4… 一般質問
- P4… 審議結果、決議、常任委員会の視察報告、意見書、表彰、9月定例会の開催予定 編集の窓



6月定例会の日程

- 11日 本会議
議案の上程
提案理由の説明
議員提出議案の上程採決
- 12日 本会議
議会活性化委員会委員長報告
市政に関する一般質問
- 13・16・17日 本会議
市政に関する一般質問
- 18日 本会議
市政に関する一般質問
議案、請願・陳情を各常任委員会に付託
- 19日 常任委員会
総務財務常任委員会
- 20日 常任委員会
健康福祉常任委員会
- 21日 常任委員会
教育経済常任委員会
- 22日 常任委員会
都市整備常任委員会
- 25日 本会議
議案、請願・陳情の採決
議員提出議案の上程採決

減CO₂大作戦の取組は

問 50万本植樹計画の進捗よく状況及びどんぐり作戦の全体像とボランティア団体との関係は

答 植樹計画の進捗よく状況は公共用地・民有地を合計すると、19年度は5万2千本に、減CO₂の計画の一環として、減CO₂のくり作戦を実施する。その全体像は小学校や子ども会にとりぐりキッズ隊を編成し、どんぐりを拾い、ポットに植え併せて環境に関する体験学習を実施する。3年後には苗を自分の手で、または筆に委ねて植樹。場所は市内の公共用地や自宅のほか、市外の地域とも連携し、交流の機会とする。この事業の実施に当たっては、体験学習や植樹など、地元やボランティアの協力をいたたくこととなると思



どんぐりの苗木

時代に合った計画づくりを

問 基本構想は原則として改定しないとのことだが、策定して10年が経過し、現状に合わなくなったところが目立つので、これを修正してはどうか

答 総合計画は、基本構想・基本計画・実施計画の三層構造にな

一般質問

6月定例会では、30人の議員が一般質問をしました。一般質問は、定例会で議員が市政の諸問題を将来の見通しなどについて、市の考えを聴くものです。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

学校施設耐震化の促進を

問 市有建築物の耐震化整備プログラムの整備時期を前倒しして、一校でも多く実施すべきと考えるが市の考えは

答 学校施設での児童生徒の生命を守ることはもちろん、災害に強い安全なまちづくりに寄与する防災拠点としての学校施設の耐震化のスピードアップは、最重要課題と認識している。国においては耐震性能1s値)03未満で平成22年度までの3年間に耐震改修に係る補助率を、2分の1から3分の2に引き上げられた。この制度を積極的に活用し、22年度までに耐震性の低い校舎の耐震化を図れるよう、補助金の獲得など最大限の努力をしていく

おはなしキャラバンのおはなしキャラバンの財産の活用は

問 長年にわたるおはなしキャラバンの財産である絵本、人形、舞台、衣裳、道具や脚本等について保存管理し出しセンター等部署を作る予定はあるか

答 キッズクラブが保有する人形劇セットや、絵本の保存と貸し出

「攻める市役所」を 目指す考えは

問 積極的に情報の発信・収集に取り組み、「攻める市役所」を目指すべきと考えるがそれを担う部署は

答 積極的な情報の発信・収集を行っていくという指摘については同じ考えであり、行政では広報広聴活動や業務を理解していただくために「パートナー講座」を実施しているが、市民に情報提供機会ともなっている。また、平成20年度から3か年をかけて策定する後期基本計画においても、ニーズ調査を実施し、広く市民の要望を聞きこたわらず、個々の職員が意識を持って職務にあたることを重要だと考えている

災害時要援護者避難支援プランの構築は

問 要援護者避難支援プランをどう構築していくのか

答 要援護者避難支援プランの策定については、高齢者、障害者などを所管する福祉部局と、防災部局等、関係各課により要援護対象者の確認、情報の収集、共有方

財政のあり方と方向性は

問 本市財政のあり方、その目指す方向性についての考えは

答 平成15年に、松戸市行財政改革計画」を策定し、「財源不足の解消」「構造的な転換」の二つの柱により、「事業の再構築」「総人件費の抑制」「財政調整機能の発揮」の三つの方策を定め、行財政改革を進めてきた。また、「地方分権一括法」施行以降、自己決定・自己責任原則」に基づき充実に移行しているが、財政の健全化なくしては市民生活の安定、向上はないと思っている。何らかの指標の達成だけを目標とするのが、このことが自己目的化してしまう恐れがあるので、常に全体のバランスを念頭において、今後も努力していく

給食調理業務 民間委託後の状況は

問 牧野原小学校の給食民間委託に対し、保護者の反対運動があったが、理由と本市の見解を伺う

答 主な反対理由は、保護者への提示が適切だったことと調理員と児童が一緒に食へること、調理員と食がなくなることであった。説明会では、予算案が固まる2月下旬から3月上旬に行っており、繰り上げることは困難である。「ふれあい給食」は、本来の調理員職務とは別に食育の一環として善意的、献身的に行っていたが学校で行う食育は、教諭を中心に栄養士が特別非常勤講師の資格をもつてあることが原則と考える。なお、委託後に1、2年生の保護者や児童にアンケートを行った

高齢者への訪問理美容 サービスの実施を

問 近隣では、理髪店や美容室に出向くことが困難な要介護者や高齢者等への訪問理美容サービスをを行っているが、本市も実施する考えは

答 このサービスは、国庫補助事業の対象となっていたことから導入を検討したが、市民ニーズの多い配食サービスや緊急通報装置や事業を継続している。今後も増大する高齢社会の中で多様化する市民ニーズに応えるため、従来のサービスが効果的に提供されているか、他のサービスとの優先順位などを公正に評価・検証した中で高齢者福祉サービスを維持継続していくことが優先と考える

若者の活力を集めるために

問 高齢化率の高い本市には、少子化対策、担税力向上のための政策が急務である。若い活力確保のため、イメージ戦略として地域のイメージアップ、情報発信につなげると思いが、見解を伺う

答 FCの組織は、各都道府県を主体に「全国フィルム・コミッション」が平成13年8月に、14年10月には県下各市町村が中心となり、千葉県フィルム・コミ

東松戸駅周辺の安全対策を

問 紙敷土地区画整理事業の進展に伴い、東松戸駅周辺の県道

川・柏線の交通量が多くなっている。高塚十字路方面から駅向への右折レーン及び高塚側横断歩道の設置予定と東部小学校及び第五中学校周辺道路の整備状況を伺う

答 この交差点は、県道と未供用である都計計画道路3・4・35号線の暫定T字路である。そこから松戸南高校方面は未整備区間となっているが、通常を利用する児童生徒も多いことから、隣接する秋土地区画整理組合調整、暫定ではあるが早急に整備すべきと考える。その後には3・4・35号線の供用を開始し、暫定T字路の正規の十字路変更時に合わせて、右折レーンと横断歩道を設置したい

フィルム・コミッションを

問 FCとは、映画、TVドラマ・CM制作などを誘致し、その活動を支援する地域の非営利・公的機関である。ロケ撮影は、地域経済・観光・文化振興はもとで、各種メディアに登場するもとで地域のイメージアップ、情報発信につなげると思いが、見解を伺う

答 FCの組織は、各都道府県を主体に「全国フィルム・コミッション」が平成13年8月に、14年10月には県下各市町村が中心となり、千葉県フィルム・コミ



撮影に使われた江戸川の小山緊急船着場

子どもの体力向上のために

問 子どもの体力低下が叫ばれている中、学校教育における体力向上への取組と今後の方向性を伺う

答 本市小中学生の体力向上の結果は、小学生から中学生へ進むに連れ、国平均とほぼ同じ数値まで向上している。この背景には、松戸市小学校体力章を制定し、健康で調和のとれた体力づくりの支援、備品設置の推進、各学校のさまざまな取組等が実を結んだものと考えられる

本市の後年度負担と 現状を伺う

問 本市財政は決して悪くないと理解しているが、今後、病院建設や公共施設等の耐震化等、大きな後年度負担が発生する、それらをもの様に考え、市民生活をどう考へるか

答 市長就任以来、「行政リストラ」「財政改革」「行財政改革等を断行し、健全な財政運営に努めてきた。将来の財政負担となる市債残高を、17時の平成8年度と比較すると、517億円の削減など一定の成果は得られたと考える

19年度決算は調整中だが、一般会計及び各会計で概ね良好な結果が出るものと理解している。市民生活の基盤となる公共施設は後年度負担を考慮し、計画に事業の推進・見直しを図るべきと考える

質問をした議員(通告順)

森下 彰司・中田 京・飯着 公明・城所 正美・杉山 由祥・織原 正幸
宇津野史行・小沢 曉民・木村みづ・山中 啓之・山沢 誠・磯崎 吉弘
名木 浩一・松井 貞樹・渋谷 剛士・佐藤 恵子・諸川 由美・高橋 妙子
渡辺美喜子・工藤 鈴子・本郷谷健次・高木 健一・石川 龍之・桜井 秀三
中村多賀子・市川 恵一・二階堂 剛・深山 能一・伊藤余一郎・谷口 薫

公文書のデジタル化は

問 本市の公文書は、どのように管理されているのか、また、文書のデジタル化を推進していく必要があるのではないかと。
答 本市の起案文書数は、平成18年度実績で15万7483件、一日平均630件発生している。保存年数1年・3年は急減で保管、5年・10年は小金原文書館に30年については市役所別館地下に保存している。歴史的、文化的価値を有する貴重な文書を厳選して、このデジタル化対策については、事務の効率化を図る新しい文書管理システムとして、研究を進めていく。

食で育む松戸の未来

問 松戸市食育推進計画は平成20年度からスタートするが、具体的な今後の取組と、協力いただいている千葉大学園芸学部移転問題をごとつかるか。
答 松戸市食育推進計画の今後の取組については、行政・市民、事業者、食育ボランティアや市内にある大学協力をいたしながら、望ましい食育習慣、地産産物の学び、食の成り立ちの理解、選別力を養う等、その目標達成に努めていく。市内の食に関する資源を結果として計画の副題でもある、食で育む松戸の未来、のため、食育推進に積極的に取り組んでいく。千葉大学園芸学部移転問題は、仮に移転となると、緑豊かな環境の喪失や、優れた人材の流出等

文化芸術振興計画の策定は

問 児童生徒が一流の文化芸術に触れ、心豊かに成長することや高齢者・障害者への文化芸術の支援等を考えたとき、本市基本計画に文化芸術の振興を盛り込むべきと考えられるか。
答 文化芸術に関し、市民の自主性、創造性の尊重等に対する市民の意見が反映されることが重要であり、文化芸術振興を推進するためにも基本理念や責務を明らかにし、基本となる事項を示す必要性は感じている。平成20年4月より社会教育担当者を中心に定期的な会議を開始している。今後は文化芸術振興の基本理念や文化施策の基本指針の策定などを検討し併せて条例制定の可否なども議論していく。



生活保護法基準改定について

問 生活保護法の基準改定により通院費給付の必要性等の再検討が述べられているが具体的な内容は、厚生労働省による通院費給付の必要性等再検討の内容は、付の必要等再検討の内容は、

北松戸駅西口エレベーターについて

問 北松戸駅西口エレベーターの案内板は設置してあるが、乗降口が分かりにくい。階段上部の外壁に、エレベーターだと分かるデザイン、画を市内の児童生徒に描いてもらえないか。
答 現在、エレベーターまで導く案内板は、JR敷地内には4か所設置しているが、市民からは分かりにくいとの意見がある。現在設置の案内板の表現や設置位置を再検討するとともに、提案の児童生徒のデザイン画について、募集も含め外壁の利用をJR及び関係部署と協議し、検討したい。

東松戸駅自転車駐車場整備計画は

問 東松戸駅周辺は、住民の増加が利用者も増えている。駐輪場が工事で仮設駐輪場が設けられて、駐輪場と同じくらい歩道に駐輪している。不足している駐輪場について、JRや北総鉄道と協力を進め、今後の整備計画をどう

歳入面から見た松戸市のまちづくり

問 人口が本市と同規模の20都市と比較して、なぜ本市の歳入が少ないのか。
答 本市と同規模の20都市の約半数は県庁所在地で、地域の位置付けや経済圏域等が異なる比較を困難と考える。本市の特徴は固定資産税の内土地の課税は、本市が首都圏の住宅用地の割合が全体の8割を占め他市に比して1割程度高い。都市計画税は、本市は区画整理事業を積極的に実施したことから、税率を100分の0.23としており他市の多くが制限税率の100分の0.3で課税していることも影響があると考える。

若者就業支援について

問 4月より開始された若者就業支援事業の状況と周知方法は、
答 平成20年度新規事業で、若者就職個別相談窓口、ジョブサポートまつど、職業能力向上セミナー事業を開始した。相談窓口は月2回(第2土曜日・第4水曜日)勤労会館で実施し、仕事探しを始め前のステップとして、キャリアアカウンセラが相談者の自己分析や職業理解を支援し、情報収集の方法等を提供する継続的相談が可能な窓口とした。能力向上

商店会の活性化を図るには

問 商店会への入会を促進する条例を制定する考えは、
答 地域経済の発展と商業振興を図ることを目的とした産業振興や商業振興の条例を制定する自治体が多くなっている。しかし、条例だけでなく効果的につながらず、商店会自身が活性化策を積極的に実施すると、加入意欲を引き出す努力を併せて続ける必要がある。商業基盤の強化と地域経済の活性化を図る上で、商店会の活性化は重要な課題であると認識しており、先例となるこれらの条例や千葉県、一商業者の地域貢献に関するガイドラインを参考として、商工会議所や関係団体と連携を図りながら、実現に向けて調査検討を進めて行く考えである。

松戸市の政令指定都市構想は

問 市長が推進したいと考える「松戸市が目指す政令指定都市構想」とは、
答 政令指定都市に昇格した松戸市が、地方自治体は、地域住民に一定のサービスを提供し続けることが第一であり、そのために必要となる「型」にこだわることなく進めていくべきである。現行制度上の中核市ではメリットが少ないため、このままの松戸市が、政令指定都市にステップアップするという大きな2つの選択になってくることを考える。今後、市民が選択したい、あくまでも、決めるのは市民の意思であると考える。

夏季期間の学習環境の整備は

問 小中学校の教室の暑さ対策と緑のカーテン事業の拡大は、
答 夏の暑さは自然現象とはいえ、子どもたちの健康被害の防止対策が重要と考えている。今後の小中学校の暑さ対策として、「教室内の温度が下がった」と等の効果が認められた緑のカーテン事業の更なる活用をはじめ、低学年の教室、教室の南側や西側等、日差しが強い教室やベランダのない、近隣でも扇風機の設置とともに、近隣でも設置が進んでいるエゴクンなども視野に入れて、夏季の学習環境を整えていく考えである。

スクールガードの役割は

問 通学路安全確保について、松戸市のスクールガードの役割は、
答 スクールガードは、保護者や地域住民により市内全ての小学校で組織された、学校安全ボランティアで、現在4578人のボランティアで、登下校時の交通安全指導や見守り活動など、児童の安全確保に協力していただいている。

市立病院の経営改善策は

問 市立病院の経営改善計画と中期経営計画を策定する考えは、
答 全国の公立病院の8割近くが赤字といわれており、自治体病院の多くはさまざまな生き残り策を模索している。市立病院の赤字の要因として、一番の問題は病床稼働率の低迷である。平成19年度は平均81.1%であったが、平均90%を維持しなければ黒字は難しい。現在、病院をあげて経営改善に取り組んでいる。

公共施設のあり方は

問 市内各地域の公共施設の状況と方向性及び市全体の課題やそれに対する基本方針は、
答 公共施設は、総合的、長期的観点から、戦略的に適正に管理活用していく必要がある。公共施設のあり方は、本市全体の将来像や地域課題の方向性を決定づけることにもなる。平成20年度から策定作業に入る「後継基本計画」の策定過程のなかで、広く市民の意見を聞きながら、松戸市の将来ビジョンに合致した公共施設のあり方について検討していきたい。今更なる必要はないと考えている。今回立ち上げた、松戸市公共建築物整備検討会議」など庁内の体制で、今後の方向性を員定めていきたい。



緑のカーテン(東部小学校)

開台土地画整理 事業の今後は

問 開台市の指導監督のかかわりと、賦課金問題の打開策は、答 県には、事業の検査ができる監督権がある。また、市は、事業促進のために必要な助言や助言などができる立場にある。開台土地画整理事業は、平成12年までは換地処分・清算を行うまでに事業が促進していたが、パブル経済破綻後の急激な地価下落により資金不足が生じ、19年1月の理事会において賦課金導入の機関決定を行った。換地後に宅地を取得し生活を始めた組合員からは、導入に反対する運動も起っている。しかし、組合が組合員に対し、解散に向けて不足する組合費の負担を求めることは当を得ていると判断せざるを得ないと考える。

地震対策の方針は

問 中国での地震を踏まえ、市の耐震整備計画に変更はあるか。答 平成20年4月に発表した「松戸市耐震整備プログラム」市有建築物耐震化整備プログラムの中で、市有建築物の整備は、防災上の重要度や耐震性能に応じて優先度を定め順次、耐震改修を実施していく予定である。最優先する建築物は、多くの市民が利用する学校・病院・集会所等の特定建築物で、震災時に応急活動拠点となる防災拠点や応急救護所、収容避難所のうち、耐震性能（強度）が著しく低いものから整備する計画であり、基本的な考え方に変更はない。20年5月に設置した「松戸市公共建築物整備検討会議」での議論や方針を踏まえ、早期に耐震化を推進したいと考えている。



6月定例会 審議結果

Table with 6 columns: 番号, 件名, 本会議の結果, 番号, 件名, 本会議の結果. It lists various council proposals and their outcomes, such as '市長提出議案' and '議員提出議案'.

議員提出議案第1号「国立大学法人千葉大学園芸学部の移転凍結を求める決議」が招集日に全会一致で可決されたため、陳情第3号は採択とみなされました。

常任委員会の 視察報告

市議会の常任委員会では、先述都市への行政視察を次のとおり実施しました。総務財務常任委員会 視察日 4月17日から18日 視察市 岐阜市(岐阜県) 項目 岐阜市行政改革プランについて 項目 岐阜シティタワー43について 健康福祉常任委員会 視察日 4月15日から16日 視察市 高槻市(大阪府) 項目 高槻市子育て総合支援センターについて 都市整備常任委員会 視察日 4月14日から15日 視察市 盛岡市(岩手県) 項目 まちづくりアドバイザー派遣制度について 教育経済常任委員会 視察日 5月13日から14日 視察市 川西市(兵庫県) 項目 子ども人權アライアンスについて 視察市 ニ崎市(兵庫県) 項目 ニ崎市総合文化センターについて 都市整備常任委員会 視察日 4月14日から15日 視察市 盛岡市(岩手県) 項目 まちづくりアドバイザー派遣制度について

意見書提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。地震から子どもたちの命を守るための、学校施設の耐震化への国庫補助増額を求める意見書 「協働労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

表彰

全国市議会議長会の定期総会において、議員在職15年以上の方が表彰の栄誉に浴されました。被表彰者 工藤鈴子議員

編集の窓

暑中お見舞い申し上げます。松戸市議会では、地方分権の流れのなかで、首長による行政改革や市民の首長への多様な対応へすべく、議会活性化委員会を設けて議会改革を進めています。先月の定例会から随時や陳情を委員会で審査する際、陳情者・陳情者の意見陳述の場を設けて、皆様の声を審査し、また、常任委員会の数値より、委員同士が自由に意見交換を行うフリートークも始めました。今後も、市政は市民のためのもの、という想いを常に忘れず、市民にわかりやすく、より皆様の声が反映される議会を目指して取り組んでまいります。

Table with 2 columns: 期日, 主な内容. It lists dates for council meetings and public inquiries, such as '9月定例会の開催予定' and '議会を傍聴しませんか'.

次回の発行予定は10月26日(日)です。